

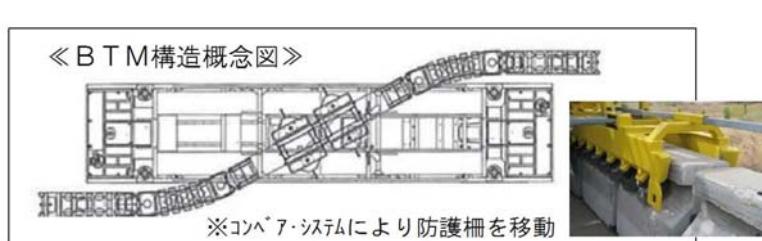
Road Zipper Systemについて

- ・Road Zipper System とは、LINDSAY社(アメリカ)にて開発、製造、販売しているシステム
- ・コンクリート製防護柵の設置位置を、専用の防護柵切替用車両(BTM:Barrier Transfer Machine)を用いて移動させることができるシステム
- ・コンクリート製防護柵にてガードされた中での工事施工により、安全性が大幅に増大



防護柵切替用車両:BTM (Barrier Transfer Machine)

海外の活用状況(レーン変更)



- ◆防護柵同士はピンにより連結化
- ◆コンクリート製防護柵：高さ 810 mm、幅 460 mm、延長 1000 mm、の重量 680kg
- ◆一定間隔で鋼製の伸縮可能部分（エクステンション）を連結
- ◆開口部（端部）には、衝突緩衝用の防護柵を設置
- ◆【防護柵の移動幅】約 3m～5.5m、【BTM の走行速度】作業時:約 10km/h、回送時:約 30km/h

«Lindsay Corporation»

- Lindsay 社:1950 年、農業機械による事業を開始
- 2006 年 道路安全製品メーカーの Barrier System 社を買収し、交通インフラ部門設立
- 現在、灌漑事業と交通インフラ事業の 2 本柱で事業を実施、ニューヨーク証券取引所(NYSE)の上場企業。
- 資本金 約 19 百万ドル、売上高 約 5 億ドル(2017 事業年度(2017.8.31 まで))。

【Road Zipper System 導入・活用状況】

○H28.4.12～7.22

日本国内初の RoadZipperSystem 導入に伴う実証実験

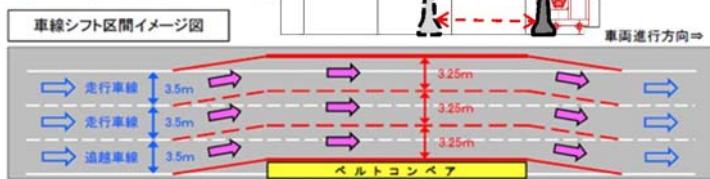
(工事規制における有用性の確認・検証)

常磐道 初石 BOX はく落対策工事の工事車線規制に活用

○H28.11.21～H29.3.31 東京外環道の工事用設備(ベルトコンベア)設置の規制に活用



東京外環西側区間の大泉 JCT から掘削する本線トンネル工事から発生する掘削土を運搬する工事設備として、既供用区間(大泉 JCT～和光 IC 間)にベルトコンベアを設置する工事の本線規制に活用

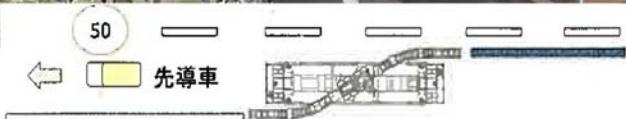


※側面と上面は防護パネルで囲われます

○H30.1 ～H30.4

関越道 前橋工事(付加車線)の工事車線規制に活用

関越道前橋 IC(上り線)の出口の減速車線延伸(付加車線設置)のための本線規制に活用



【販売・リース事業】

○LINDSAY 社※と(株)ネクスコ東日本イノベーション&コミュニケーションズ(以下「NI&C」)において、日本国内の販売店となるための製品流通契約を締結 (H29.3.31)

(日本国内の高速道路に対する Road Zipper System に係る販売・リース店契約)

○NEXCO 中日本東京支社とNI&Cとの間で購入契約を締結(H29.5.31)

(NEXCO 中日本へのコンクリート製防護柵等の販売に関する契約)

○NEXCO 中日本東京支社とNI&Cとの間でリース契約を締結(H29.11.30)

(NEXCO 中日本への防護柵切替用車両のリースに関する契約)

※Lindsay Transportation Solutions Sales & Service LLC (交通インフラ部門)

【参考】 NEXCO東日本グループにおけるRZS(ロードジッパーシステム)事業の取組み

平成29年12月25日
東日本高速道路株
定例記者会見 資料1-2

NEXCO東日本グループにおけるRZS活用計画や課題の検討・調整とともに、
情報共有を図り、円滑に事業展開を図るため

NEXCO東日本内に「RZS調整連絡会」を設置

NEXCO東日本グループ内の展開、活用計画の検討・調整、
及びRZSの国内適用検討・調整

◎ NEXCO東日本

販売・リース調整・契約

◎ (株)ネクスコ東日本
イノベーション&コミュニケーション
(NI&C)

【参考】RZS(ロードジッパーシステム)に係る販売・リース契約について

NEXCO

